

成果発表プログラム

	氏名	学年 (プログラム入学年度)	プログラム・所属研究科・専攻
1	おがわ たかふみ 小川 剛史	D3 (2014年度)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 工学研究科・技術社会システム専攻
	テーマ	“不確実性”に立ち向かうための武器としてのリーディングでの経験	
	【発表内容】	<p>リーディング院生として、通常の大学院生活では経験することのできないであろう、いくつかの学びの機会を得た。それは自主企画活動であり、スーパーインターンシップであり、C-Lab 研修であり、リーディングフォーラムであり、異分野の学生との交流や授業などである。これらがどのように現在の私を形づくり、今後どのような形で役に立てていけると考えるかについて私見を述べたいと思う。</p>	
2	かんの まさひろ 菅野 雅博	D3 (2015年度)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 工学研究科・材料システム工学専攻
	テーマ	新しいジントル化合物系熱電材料の探索 ～MD プログラムによる研究活動の広がり～	
	【発表内容】	<p>熱を電気に変換する熱電材料は膨大な熱資源の有効活用手段として期待されており、新しい材料の探索が進められている。本発表では、新規熱電材料の候補物質に関する研究と、その研究に関する MD プログラムでの活動を紹介する。</p>	
3	まきのしま ふみやす 牧野嶋 文泰	D3 (2014年度)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 工学研究科・土木工学専攻
	テーマ	グローバル安全学の探検	
	【発表内容】	<p>グローバル安全学トップリーダー育成プログラムの学生として発表者が活動した学内外、国内外の5年間の活動を振り返りながら、“安全安心な社会構築に応える、グローバルに活躍するリーダー”を模索した過程を発表する。</p>	

2018.09.06

氏名		学年 (プログラム入学年度)	プログラム・所属研究科・専攻
4	やまだ たいき 山田 大貴	D3 (2014年度)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 理学研究科・数学専攻
	テーマ	3種のインターシップが私の研究生活に与えた影響	
	【発表内容】	物質系であるMDプログラムの中で唯一の数学専攻の学生として、内容的には本来の専攻からはかなり離れた3種のインターンシップ(環境科学研究科、マックスプランク研究所、株式会社POL)の活動を通じて得られた成果と、それらの成果が自身の研究や活動に与えた影響を、実施した各インターンシップについて発表する。	
5	みやなべ けいすけ 宮鍋 慶介	D3 (2014年度)	グローバル安全学トッパーリーダー育成プログラム 情報科学研究科・応用情報科学専攻
	テーマ	情報という観点からの安全・安心	
	【発表内容】	本発表では情報という観点からの安全・安心について発表を行う。津波や地震の専門家ではない情報科学研究科の私が貢献できることはなんなのか、自分の専門を活かした他とは違うアプローチの模索をする中で実施してきた自主企画活動の成果を中心に報告する。	
6	あおの ゆき 青野 友紀	D2 (2015年度)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 工学研究科・金属フロンティア工学専攻
	テーマ	リーディング活動を通じた北海道大学との交流	
	【発表内容】	MDプログラムでは、北海道大学の物質系リーディングプログラム ALP との合同シンポジウムを毎年、交互に訪問する形で開催しており、今年で4回目を迎えた。ここでは北海道大学の学生と共に、企画から運営までを自主的に行った「MD×ALP 合同シンポジウム」の経験を中心に、リーディング活動についての発表を行う。	